

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	142市民生活を支える地域情報化の推進		
施策のねらい(めざす姿)	市民が情報通信システムを活用し、必要な情報を入手したり、時間や距離に制限されない交流をしています。		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	施策担当マネージャー	総務企画部次長
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	マネージャー氏名	武田 秀一

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	市ホームページのリニューアル、SNSの利用拡大、番号制度開始による利便性の向上	③改革・改善内容	より読みやすく親しみの持てる広報紙づくり、ホームページリニューアル事業の実施に向けた具体的な検討。
②①に基づく取り組み結果	ホームページは、掲載内容の充実を図るとともに、第4次実施計画にリニューアル事業を位置付けた。広報は、27年12月からスマートフォン用アプリ「マチイロ」での配信を行うとともに、28年度からはカラーユニバーサルデザインに配慮した紙面としている。また、番号制度については、平成29年7月からの情報連携開始に向けシステム改修や総合運用テストを行った。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	広報:市内全世帯用ホームページ	意図(対象をどうするのか)	広報・ホームページ等の特性を活かし、子どもから高齢者まで、多くの市民に行政情報などを提供する。
②施策の概要	市の施策や行事、市民の自主的活動などの市民生活に必要な情報を広く知らせるとともに、市政への理解と協力を得るため、広報紙を発行する。また、行政手続きや緊急性のある行政情報などの提供をホームページ等で随時行う。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	情報の発信や収集にSNS利用の比重が高くなってきている。 広報紙:昭和32年5月1日から発行。市ホームページ:平成10年9月1日から開始。 ツイッター:平成23年4月11日から開始。フェイスブック:平成26年2月3日から開始。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27~28年度の施策の成果	「広報かまがや」を年24回(毎月1日号・15日号)発行した。新聞折込により各世帯に配布し、新聞未購読世帯の希望者にはポストインを行った。また、公共施設や駅などに配置するとともに、市ホームページに掲載し、スマートフォン用アプリ「マチイロ」での配信を行った。ホームページ等では、行政手続きや緊急性のある行政情報等の提供を随時行った。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目標値(32年度)
	i	市ホームページ年間アクセス数	件	411,490	410,445	350,224	420,000
	ii	まなびいネット利用件数	件	32,058	91,279	120,997	56,000
	iii	(H26.9から公共施設予約システムに移行)					
③基本事業成果指標	i	まなびい大学などのICT関係講座の開催数	講座	10	26	33	11
	ii	市ホームページ年間アクセス数	件	411,490	410,445	350,224	420,000
	iii	まなびいネット利用件数	件	32,058	91,279	120,997	56,000
	iv	電子メール受信数	件	290,688	314,424	191,940	120,000
	v						
	vi						
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費	平成27年度決算	平成28年度決算	市民一人あたり事業費(28年度決算)		平成29年度予算		
事業費(千円)	19054	18447	(単位:円) 169 円		22577		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	広報:より多くの市民が閲覧できる環境整備(配付・配置等)の検討 ホームページ等:ウェブアクセシビリティの対応及び情報発信の危機管理体制強化		
②総合評価	2概ね達成	③総合評価の理由	広報紙の発行及びホームページ等の運用により、市政情報を広く知らせるとともに、市政への理解と協力を求めることができた。また、緊急性のある行政情報などの提供も随時行うことができた。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑ 向上	②コストの方向性	↑ 増加
③特に重点化する事務事業	市ホームページリニューアル事業		
④上記方向性の説明	ウェブアクセシビリティの対応及び情報発信の危機管理体制強化等を図るため、CMS(コンテンツ・マネジメント・システム)を導入する。		